



第34回 全国市町村交流レガッタ豊岡大会



9月27日・28日 全国市町村交流レガッタ「チーム下諏訪」大健闘

下諏訪 ぎわし

Vol.49

2025
8月臨時会
9月定例会

特集 2～3P

R6年度決算
どう使われた？

特集 6P

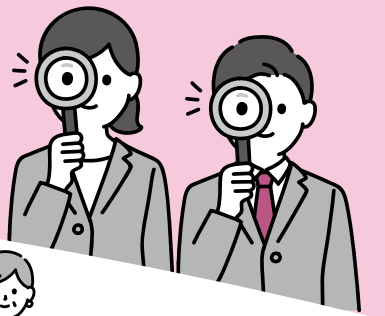


新教育長就任
インタビュー

令和6年度一般会計決算

歳出総額 90億9,319万円

昨年度は、どんな事業が進められたの？
どう使われたのかしっかりチェック！



大型事業



総合文化センター大ホール等改修
8億818万円

懸案だった吊り天井や劣化した設備機器の改善等が完了しました。



高木橋架け替え工事
1億6,043万円

R8年度まで工事が続きますが、騒音・振動などに対する近隣住民の皆さんへの配慮もされました。

新規・拡充事業

こども家庭センター

教育こども課内に、「こども家庭センター」が開設されました。妊娠期・出産・子育て期の様々な困りごとの相談窓口として、具体的な支援に繋げる役割を果たしています。

中高生海外研修事業 891万円

研修先をオーストラリアケアンズに変更するとともに、高校生も対象に加えました。

定員を超える応募があり、抽選を行った上での研修が行われました。

「地域公共交通計画」策定 204万円

町が目指すべき公共交通の在り方や将来像を、R5年度の調査を踏まえ、地域公共交通協議会での議論やパブリックコメントを経て決定しました。



移住交流総合拠点整備事業 194万円

信州大学や県建築士会の協力を得て、旧矢崎商店の調査研究が進められました。歴史的価値が認められた調査研究の成果は報告書としてまとめられ、国の登録有形文化財指定に向けての力になりました。

UIIターン就業・創業 移住支援事業補助金 120万円

都市圏から下諏訪町に移住し、就業・創業する方に支援金を支給。補助開始初年度は3人の実績でした。制度のPRが求められます。

老朽危険空家除却補助金 479万円

事前調査により「老朽危険空家」と判定された空家が補助対象で、補助対象経費の4/5、上限80万円を補助。6軒が除却されました。



町民生活への支援

物価高騰に直面する低所得者、
子育て世帯などへの支援

定額減税補足給付金給付事業 1億3,990万円

住民税均等割のみ課税世帯 生活支援給付金給付事業 4,689万円

住民税非課税世帯等 生活支援給付金給付事業 3,441万円

臨時経済対策事業 (商工会議所地域経済対策支援事業補助金) 500万円

子育て世帯物価高騰対応 重点支援給付金給付事業 1,371万円



上下水道基本料金減免 4,286万円



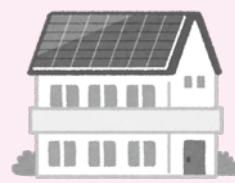
その他の「いいね!」事業



町政
課題研究会
90万円



事業者用
ゼロカーボン
補助金8件 43万円



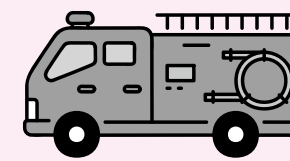
家庭用
ゼロカーボン
補助金83件 675万円



生ごみ処理機器
設置補助金
26件 80万円



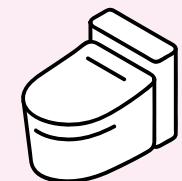
補聴器
購入補助金
35件 104万円



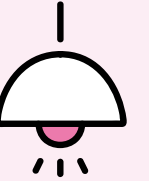
第6分団に小型動力ポンプ
積載車・小型動力ポンプ配備
1,650万円



八島高原園地景観改善、
木道環境維持、案内看板設置
104万円



北小トイレ
洋式化
169万円



南小体育館
照明LED化
1,597万円

議員が
注目の
議案！

22議案を審議
全議案を可決・認定



詳しくは
議会 HPへ

R7年度一般会計補正予算

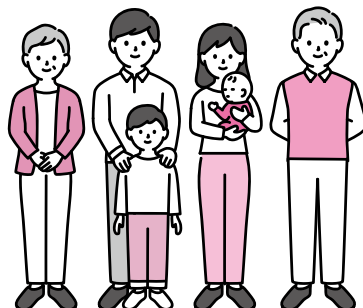
町子育て・多世代交流施設開設

来年秋開店予定の「イオンスタイル諏訪」の中に、子育て・多世代交流施設が開設される予定です。イオン店舗の工事に間に合わせるため、内部設計委託料445万円が計上されました。

「H30年の閉店以降、町民が待ち望んだ新イオンの開業については歓迎の声が上がっている。また、イオン店舗内への子育て支援施設の建設は以前から町民との約束事でもあり、イオン内への機能移転で利便性の向上も期待できる」など賛成討論がありました。現行の子育てふれあいセンター「ぽけっと」の今後については、町民の意見を聞いて慎重に対応してほしいとの意見も出されました。

水道基本料金減免に

物価高騰に苦しむ町民生活支援のために、水道料金の基本料金1期分が減免されます。そのための水道事業会計への繰り出し1824万円が計上されました（うち964万円は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）。



R8年度から
子ども・子育て支援金を徴収

R7年度国民健康保険および後期高齢者医療の特別会計補正予算の主な内容は、全世代が子育て世代を支える仕組みとしてR8年度から「子ども・子育て支援金」を保険加入者から徴収し、支援納付金として国に納付することになるため、住民行政システムの改修委託料を増額するものです。

国から示されているR8年度の加入者1人当たりの支援金月額額は、国保は250円、後期高齢者医療は月額200円の見込みです。

下水道管路の耐震化

老朽化対策

全国で下水道事故が発生しています。町では、管路改築に向けて老朽化が進んでいる箇所を優先に詳細カメラ調査による老朽化状態の調査や耐震化を進めています。下水道管路の耐震化や老朽化対策、災害対策は町民の暮らしにはなくてはならない事業です。



特別養護老人ホーム ハイム天白

特別養護老人ホームは厳しい
予算の中、大変な努力

R6年度特別養護老人ホーム事業特別会計の決算状況は、ショートステイの利用者がロング入所に切り替わったことにより減少、ロング入所は状態の悪い方を多く受け入れており、長期入院等で空床率が14・1%となりました。収支不足を補うための一般会計からの繰入金、約4385万円となりました。自治体が運営している県内唯一の特養。厳しい予算の中、老朽化も徐々に進んでおり、職員のみなさんには運営に大変な努力をいただいています。

R6年度水道事業会計決算

水道料金値上げは賛否分かれる

水道管の漏水分析が進められました。

衛星画像AI解析による漏水調査は伊那市等、南信地域の複数事業体での協調発注により、事業費を減額することができました。

この検査によって、町内全域で「漏水あり」の診断が出され、特に老朽化が進んでいると判断した2か所の範囲について詳細調査を行い21件の漏水を確認しました。今後さらに詳細な調査と改修計画が進められます。

R6年度に行われた17・6%の料金引き上げは、物価高騰で苦しむ町民生活へのさらなる負担であったことから反対との討論と、水道料金会計は非常に厳しいが、県内トップクラスの安価な料金体系であり、健全な運営を行っているとの賛成討論がありました。

賛成多数で決算を認定しました。

役場職員の勤務時間や

育児休業取得の改善

上位法の改正により役場職員の柔軟な勤務体制や部分休業の形態を確保する条例改正です。これにより、これまで以上に仕事と子育ての両立が可能となり、職員の希望や意見も尊重されるようになります。

正規職員、会計年度任用職員ともに、今まで以上に必要な時に休業を取得できるようにします。部分休業は働く職員の権利であり、規定の範囲内であれば人事評価に影響はありません。



意見書案の審査結果

<インボイス制度廃止と、「2割特例」「8割控除」の継続を求める意見書> 賛成多数で可決

2023年10月開始されたインボイス制度で課税業者になったフリーランスや中小事業者は、消費税を納めるために大変な苦勞を強いられています。来年10月から予定される「2割特例」「8割控除」等の負担軽減措置が廃止・縮小されれば、小規模事業者の苦境がなお一層深まり、事業存続も危ぶまれます。

政府に対し、制度そのものの廃止と、廃止されるまでの間は負担軽減措置の継続を求める内容で、金井敬子議員から提案されました。

- 反対 事業者が正確に消費税を納めるために必要な制度。消費税は重要な国の財源である。
- 賛成 この制度で新たに課税業者となった方たちの9割が「制度に反対」、6割が来年10月以降の事業見通しが悪いと回答している調査結果がある。営業と暮らしを守るべき。

9月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等	議員名（議席順）	議決等結果	賛否												
			中山透	林吉広	野沢弘子	竹元完奈	高橋幸二	林元夫	樽川信仁	大橋和子	花岡進	金井敬子	青木利子	豊島健之	松井節夫
令和6年度水道事業会計決算		認定	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×
インボイス制度廃止と、「2割特例」「8割控除」の継続を求める意見書		可決	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

一般質問12の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！
9月定例会でも、あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と
真剣な議論を展開。今後の町の動向にも注目！

P13	P13	P12	P12	P11	P11	P10	P10	P9	P9	P8	P8
気候危機	教育将来像	新教育長	地域の安全	防災士研修	子育て環境	地球環境	こども計画	支障木除去	イオン開店	町の理想像	カスハラ

皆さんは
どのテーマに
関心が
ありますか？



各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見るすることができます。

下諏訪町議会
議会中継
チャンネル



質問順

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 大橋 和子
ハラスメントなどの対策は | 4 松井 節夫
道路に接する支障木除去を |
| 2 林 元夫
GDを施策に反映した点 | 5 高橋 幸二
計画の根底にある理念は |
| 3 野沢 弘子
買物支援、移動販売の今後 | 6 花岡 進
プラスチック増加防止対策 |
| 7 金井 敬子
学童クラブにちおこ隊？ | 10 青木 利子
新たに就任しての方針を |
| 8 樽川 信仁
定期的な研修は出来ないか | 11 林 吉広
教育長が描く教育ビジョン |
| 9 豊島 健之
災害時の避難所開設要請は | 12 竹元 完奈
公共施設の断熱状況は |

田
4
月
6
日
5
日
6

8月臨時会

山田新教育長に聞く 「町民総ぐるみで子どもを育てる未来」

山田典史教育長は東山田出身。教員として中学校現場、管理職として小学校も経験し、県行政、大学研究機関など幅広いご経験のある方です。小中学校だけでなく、保育の0歳から社会教育における生涯学習への思いをインタビューしました。



Q 就任されて、
どのようなお気持ちですか？

子どもたちが「明日も行きたい」と思える保育園・学校にしていきたいですね。
さらに、生涯にわたり体を動かす機会、年齢を重ねても学び続けられる町でありたいですね。学校教育・生涯スポーツ・生涯学習の三本柱で進めていきたいです。

Q 町子どもたちに、どんな力を
育んでほしいと考えていますか？

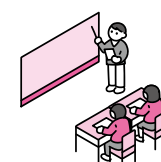
核はコミュニケーションですね。互いを尊重しながら折り合いをつける力、そして自立心と、複数の答えから自分の答えを選び取る創造力も育みたいですね。
観光の町・下諏訪に合う英語でのコミュニケーション教育も大切です。

Q 子どもや保護者、地域の声を
どう教育行政に活かしていきますか？

まずは聴くことです。説明会や未来議会など、子ども・保護者・地域の声を受け止める場を大切にします。
コミュニティ・スクールや学校支援地域本部の活動は町の強みです。学習支援や実習補助などの協力を感謝し、持続可能な形でまちづくり参画にもつなげていきたいです。

Q 教育現場の先生への
まなざしをお聞かせください。

学校の特色と柔軟性を尊重しながら、町全体の学びの軸も共有していきたいですね。
校長先生方と教育課程の在り方を丁寧に相談し、子どもに向き合う時間と先生方の学びの時間が両立できるよう工夫していきたいですね。



教育長から
メッセージ

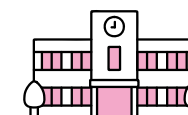
子どもたちへ 下諏訪の未来は君たちの手の中に。
町民のみなさんへ 町民総ぐるみで！
協力一致で子どもを育てましょう。

松崎前教育長9年間おつかれさまでした！

松崎前教育長からのメッセージ



「子どもの良さを認め合い、素敵な笑顔あふれる園・学校に！」私の9年間のテーマでした。子どもの側に立ち、言動の背景にあるものを探り、傾聴・共感しながら支援する中で、子どもに学び自分を変えることを常に意識してまいりました。このことは日頃関わるすべての方々に学ぶことにも繋がります。
議会では、一般質問等の折に、教育への想いを本音で語らせていただいたこと、議員の皆様は快く受け止めていただいたことなど、私の生涯の宝となり心より感謝しています。
山田新教育長は、最新の学校現場における教育情勢を熟知されています。何が起きても迅速な対応が確実にできる方ですので、健康には十分に留意され御尽力いただきたいと思います。
今後とも、温かく思いやりのある下諏訪町の発展をお祈りすると共に、町民の皆様には、お互いの良さを認め合い素敵な笑顔あふれる瞬間を積み重ねていただきたいと思います。





おおはし かずこ
大橋 和子

ハラスメント などの対策は 多くの研修を 開催し対応

問 役場業務に支障をきたす要求は。

総務課長 窓口や電話で威圧的な態度が繰り返される事例等がある。

赤彦生誕150周年

問 記念祭はどのような計画か。

産業振興課長 記念年に1年かけて企画していく。具体的には未定。

学校の防犯対策

問 生徒を不審者から守る対策は。

教育こども課長 警察、教育委員会、保護者へ状況を早急に連絡。

問 学校のセキュリティ対策は。

教育こども課長 PHS導入などで、通信環境を整備。

旧矢崎商店の今後

問 国登録有形文化財の指定を待ちながら、価値を活かすには。

産業振興課長 内も外も極力変え

ず、耐震性を確保して活用したい。

問 一棟貸し計画は、セキュリティの面でいかがか。

産業振興課長 セキュリティの配慮が必要で、文化庁など関係機関と確認を取りながら進める。

春宮付近の動線

問 春宮駐車場を起点とした分かり易い観光案内整備を。

産業振興課長 周辺マップの改定や、内容について検討していく。



旧矢崎商店内部の貴重な建具



はやし もと お
林 元夫

G Dを施策に 反映した点 4地区のG Dを 検討しプラン作成

問 「理想のしもすわを求めて」は、私の議員になった時からの根源的テーマ。下ノ諏訪宿地区のG D（グランドデザイン）で、施策に反映した点、反映していく点は。

町長 官民の役割を把握した上で行政のやるべきことを検討する。

問 4地区のデザインを検討した上でアクションプランを作る。

問 赤砂崎左岸の活用は。

町長 開発用地はエコタウン構想、バイパスの代替用地としての活用を想定してきたが、見直しが必要。新たな視点で多角的に活用方法を模索したい。

問 社地区におけるニデックの社宅跡地の活用において、一部南側はバイパス工事に伴う代替地として、造成した上で分譲。北側の土地は確かな構想がない限り、町の財政負担となる。どう開発するか。



山王閣跡地の斜面の劣化が進む

ながら検討していく。

問 社会福祉協議会の移転用地にどうか。

町長 町とは別組織なので、社協がどう考えるか聞いてからの話だ。

問 山王閣跡地では斜面に使用されている土のう袋の劣化が進行中。また荻原製作所跡地における行政主導・指導による早期の活性化は。

町長 所有者の意向を聞く中で、町としてできることがあれば、協力・支援する。



のざわ ひろこ
野沢 弘子

買物支援、移 動販売の今後 買物支援の在り方 を再検討する

問 イオン「多世代交流施設」への交通インフラの利便性の向上は。

町長 あざみ号の路線やダイヤの改正で、スムーズな移行に努める。

問 ミニ図書館等で読書の機会を。

町長 現代の課題であり研究検討。

小中体育館の空調整備

問 有利な緊急防災・減災事業債の活用で、猛暑から児童生徒を、また災害時には避難者の命を守るためのエアコン設置を。

教育こども課長 R4年、各校に2台ずつポットクーラーを配備し、大型扇風機と併用。学校からの要望に沿った事業の優先順位がある。

学校トイレの洋式化

問 下諏訪中学校の新入生用女子トイレが、和式4基・洋式1基で、和式が使えず休み時間にトイレを使用出来ない生徒もいた。洋式化



閉店より8年、来年の秋イオン開店！



まつ い せつ お
松井 節夫

道路に接する 支障木除去を 街路樹など点検し、 剪定している

問 住宅・道路に隣接の民有地の危険な木を把握しているか。

建設水道課長 把握していないが台風・豪雨の後パトロールを実施。国道142号線沿いの危険な木は県に写真を添えて要望している。

産業振興課長 危険木のリストはない。範囲も広く難しい。

問 危険な木がある場合、所有者に知らせて伐採した件数は。

建設水道課長 R6年国・県9件、JR1件、民有地3件。

産業振興課長 記録はないが、年間5件ほど。今後は記録する。

問 最近の支障木伐採状況は。

建設水道課長 道路にはみ出た枝の剪定3件。伐採はない。

産業振興課長 民有地は個人の責任で対応をお願いしている。

問 支障木伐採はお金がかかる。町で補助する考えはないか。

産業振興課長 相談件数や先進事例を参考にしたい。



142号線沿いの危険な木

例に学び検討する。町では森林税を活用した対策も検討する。

やしまルシェの運行

問 東山田や高木地区など、商店が遠い地区への、移動販売車やしまルシェの展開はできないか。

住民環境課長 基本的に地区からの要望によりルートや場所を決めている。7月に運行変更。民間業者と被らないようにしている。



たかはし こうじ
高橋 幸二

計画の根底にある理念は
心の通った支援を
全ての家庭に



はなおか すしむ
花岡 進

プラスチック増加防止対策
諏訪湖クリーン
祭などでPR

問 「下諏訪町子ども計画」の根底にある理念と、町として子どもや家庭をどのように見据めているか。
町長 子ども真ん中の視点に基づいている。誰もが安心して自分らしく成長していける社会を、地域全体で作っていく。

保健福祉課長 地域活動は住民主体となり、関係性を築き支え合うことで成り立っている。資金面の支援や活動場所の確保など、行政が活動基盤の支援を継続していく。

旧矢崎商店の進展は

問 支援につながりにくい家庭へのアプローチの課題と工夫は。
教育こども課長 信頼関係の構築のため、誰が、いつ、どのように関わるか、関係機関と入念な打ち合わせを行い、柔軟な対応と配慮をしている。

問 現在の状況、今後の予定は。
産業振興課長 これまで移住定住総合拠点としての活用を決定してきた。加えて宿泊事業も準備中。R8工事着工。R9運営開始予定。

問 職員の心のケアや働きやすい職場づくりへの取り組みは。
教育こども課長 解決が難しい問題に日々向き合っている。一人で抱えないように職員間で共有している。



町ホームページでもご覧いただけます

問 農業用マルチシートの劣化によるプラごみ飛散の防止対策は。
産業振興課長 土に返るシートが出ており町も周知に努める。
問 プラスチックごみのポイ捨てをなくすための啓発は。
住民環境課長 国道142号沿いでパトロールや清掃を実施。諏訪湖の看板設置は県に要望していく。
問 マイボトルの推奨やペットボトルを減らす取り組みは。
住民環境課長 ペットボトルの水平リサイクル(ボトルtoボトル)は今年度協定に向けて準備中。

都市構造に関する協定

問 千葉大学予防医学研究センターの「ゼロ次予防」環境づくりとランドデザインの関係性は。
町長 健康をキーワードにしたまちづくり。ランドデザインと両輪の取り組みとなる。



ジョギングロードのごみ

問 ゼロ次予防によってどのような健康まちづくりをめざすのか。
町長 スポーツをしない方々へアプローチし、誰もが健康でいられるまちづくりをめざす。

保険証廃止後の対応は

問 期限切れの保険証を持参する方が多いが、資格確認書の周知は。
住民環境課長 問い合わせ電話が多数。広報、ホームページの他、チラシを個別に郵送し周知している。



かない けいこ
金井 敬子

**学童クラブに
ちおこ隊？**
代表支援員確保の
ための判断



たらかわ のぶひと
樽川 信仁

**定期的な研修
は出来ないか**
補助金対象を広げ
て再受講可能に

問 6月、「学童クラブコーディネーターの地域おこし協力隊」募集開始のお知らせには驚いた。現場との協議や合意形成は充分か。
教育こども課長 学童クラブの大きな課題が代表支援員の確保。現場と何度も協議を続け、努力をしても解決せず、地域おこし協力隊募集に至った。これに関して現場から反対意見はない。

町長 計画策定までの時間的制約もあり実施は困難。これまで様々頂戴している意見やパブコメにより更に反映していきたい。

子どもの権利条例を

問 町として「子どもの権利条例」をつくるべき。
教育長 子どもの権利をどう行政に落とし込むかが課題。条例より、子どもの意見を反映できる仕組みこそ検討すべき。

問 代表支援員の処遇改善や業務の見直しの協議が先ではないか。
教育こども課長 処遇については検討中。議論を深めないと、支援員自体の確保も難しくなる。デジタル化や仕事量の検討などの努力もしている。

もっと意見の収集を

問 「第8次総合計画」策定に向け、若い世代を主に更に意見収集する場を設けるべき。



町ホームページ掲載のちおこ隊募集

問 防災士にも定期的な研修が必要と考えるが。
町長 補助金対象を広げて防災士の再受講にも対応している。
問 町の期待する防災士は。
総務課長 H30年より補助。取得後の活動には個人差がある。今後町からの要望も伝えていく。

姉妹都市・友好都市

問 今後における友好都市の在り方は。
町長 民間レベルでの交流の積み重ねが、友好都市に繋がることが望ましい。

功労者表彰

問 今後表彰状のサイズ縮小は考えられるか。
町長 一定の理解はするが、表彰の意義、視認性や品格において一定サイズは必要と考える。

町民祭りを振り返って

問 来賓の接待を考えては。
産業振興課長 個々に招待状は出している。接待や案内の方法は今後の検討としたい。

学童クラブの運営方法

問 課題や要望への対応は。
教育こども課長 児童の入退室のデジタル化、食事の提供の検討、支援員の確保が考えられる。



避難所開設の点検確認



とよしま たけゆき
豊島 健之

**災害時の避難
所開設要請は
総務課危機管理室
が24時間対応**

問 災害被災者を受け入れる避難所の安全性について町の見解は。

総務課長 町指定避難所の選定に当たっては、法令を遵守して行っている。しかし実際の災害は、予想を超える場合もあり、実情に即した検証と見直しが必要。安全性の確認は、必要に応じて区と情報共有を行いながら努めていきたい。

問 指定避難所が町管理下の場合の初動対応は。

総務課長 危険についての地域（区理事者）の判断を町も非常に重要と受けとめている。先ずは迅速に町の危機管理室まで連絡いただきたい。夜間であっても宿直職員から危機管理担当への連絡が引き継がれる体制を整えているので、いつでも通報いただける。

町内人口増加に向けて

問 銀座NAGANO等、在京の



銀座NAGANOでの新しい出会い



あおき としこ
青木 利子

**新たに就任し
ての方針を
一人一人への
適切な対応**

問 町は少子化傾向にあるが、どのように教育していく考えか。

教育長 より子どもの様子を把握しやすくなる面もある。ICT（情報通信機器）を活用し、個別かつ協働的な学びを一体的に充実させる。また、主体的、対話的に、計画的な学びを充実させ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善につなげられると考える。

増加傾向の海外旅行者

問 インバウンドによるオーバーツーリズム対策は。

産業振興課長 地域に負担をかけてまで集客する観光形態は支持されていない。国内旅行者も含め、受け入れる環境を整えるために、案内板や駐車場の誘導対策など随時に対応している。



頑張る子どもたち

独居高齢者の状況は

問 増加傾向にある一人暮らし高齢者への相談や支援策は。

保健福祉課長 民生委員の訪問や在宅介護支援センターのシルバーネット訪問事業により、困りごとの聴取や現状把握を行い、必要に応じて支援に繋げている。町地域包括支援センターではあらゆる相談に応じている。



はやし よしひろ
林 吉広

**教育長が描く
教育ビジョン
子ども達が通うの
が楽しい学校へ**

問 教育長が考える教育将来像は。

教育長 下諏訪町教員時代に地域と子ども達との触れ合いを見てきた。今後もコミュニティスクールが発展するように推進していく。

少子化での将来構想は

問 小中学校の統廃合の考えは。

教育長 国で検討されている学習指導要綱の改定を踏まえて、「学校のあり方検討会」を設け4校の強み・弱みを検討していく。

問 地域活動参加促進について。

教育長 地域社会の中で生活・社会・自然体験することが大切。自ら考え地域活動に主権者として参加できるような段階的に指導する。

問 部活動の地域移行の考えは。

教育長 部活動は生徒がやりたいことができる活動であるべき。保護者負担も考え、子ども達の選択肢をなくさないよう進めたい。

主権者教育の取り組み

問 体験型主権者教育の考えは。

教育長 地域の方との交流を通じて、学習やボランティア活動など主権者であるという自覚を育てる。子ども達の意識向上に努める。

問 町民が社会参画への意識を高める仕組みづくりは。

町長 学校での主権者教育と共に町政への町民参画に取り組み。意見を反映できる町政にしたい。



主権者教育用リーフレット



たけもと かな
竹元 完奈

**公共施設の
断熱状況は
改修計画にゼロ
カーボン視点を**

問 原村や県立高校でも行われている小中学校での断熱改修ワークショップの検討は。

住民環境課長 長野県環境部がサポートして各地で行われている。断熱改修は地球温暖化対策で重要。協力事業者も必要であり、メリット・デメリットを見て検討していく。

問 近隣の松本市や箕輪町でも行われている若者と住民と協働で行う気候町民会議導入の考えは。

住民環境課長 現状下諏訪町では、ゼロカーボンシティ宣言時から小学5年生にゼロカーボン授業を行っている。湖浄連の諏訪湖クリーン祭でのブース体験なども参加型の体験となっている。下諏訪らしい事業ができていくと考える。

産後ケアの拡充を

問 産後ケア事業の利用状況は。

保健福祉課長 妊婦は減っている



安心して産み育てられる環境を

問 が、利用者は増加傾向。

保健福祉課長 母子手帳交付時、訪問時、相談時にその都度案内。今年度アンケートを実施し、今後の事業の運営に活用していく。

問 補助率引き上げは。

町長 R7年度においては事業充実を図っており、他市町村に劣らない。今後産後ケアに関するアンケート結果を見ながら検討していく。

ヒメジョオン
バスター

皆さんは「ヒメジョオン」という植物をご存じですか？

江戸末期に観賞用として北米から輸入された帰化植物で全国の市街地から高原までごくふつうに見られる可愛らしい一年草～越年草です。ですが、八島湿原では元々生息していない「生態系被害防止外来植物」なんです。

八島湿原にはヒメジョオンをはじめとする繁殖能力が高い外来種が増殖しており、1万2千年かけて育まれた豊かな生態系への被害が懸念されています。外来種が増える要因の一つは、訪れる人の靴や車のタイヤについた種によるものと思われます。

下諏訪町議会も参加している「八島高原を美しくする会」が毎年ヒメジョオン除去をしています、

作業場所が入口付近や広場、駐車場のため、広い湿原の中ではびこる外来種の繁殖スピードに作業が追い付かない状況です。

八島湿原では以前に比べてごみも減り、来訪者の皆さんの環境保護意識が高まり、マナー向上に感謝しております。それでも更なる環境保全は必要で、入口の土落としのマットで種を持ち込まないように気を遣っていただくと、侵入を防ぐことにつながります。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



議会だよりモニター会議を開催しました

下諏訪町議会では、8月22日に初めての試みである「議会だよりモニター会議」を開催しました。現在活動いただいている13名の議会だよりモニターさんのうち5名の方にご参加いただき、今後の紙面づくりのために意見交換を行いました。当日参加できなかったモニターさんからも発行ごとに毎回多くの貴重なご意見をお寄せいただいています。いただいたご意見をもとによりよい議会だよりを目指します。

過去の議会だよりや他市町村のものと見比べ、見た目の印象や読みやすさについてお聞きしました。



以前はもっと丁寧に書かれていた。今は簡潔すぎるのでは？

以前と比べて見やすくなった！



議会だより作成の流れを説明。最後にお一人ずつ感想をお話しいただきました。

普段は入れない議会の議場も見学していただきました。



ページの色合い一つとっても人によって受ける印象が違い、記事のボリュームも「文字が多い」「文字が少なく情報量が足りない」など受け取り方はさまざまです。町民の皆様にとってどんな紙面が読みやすく手に取っていただきやすいか試行錯誤を続けています。

議会の「あれこれ」
知ってください！

下諏訪町議会は、3つの一部事務組合議会と諏訪広域連合議会に所属する議員を議会内での選挙により選出しています。今回は、それらの一部事務組合議会をご紹介します。

「一部事務組合」「広域連合」って、なに？

一部事務組合と広域連合は、複数の地方公共団体が特定の事務を共同で処理するための特別地方公共団体です。広域連合は、一部事務組合より広範囲な事務を扱う仕組みであり、より多角的な行政目的を達成できる点が異なります。



湖北行政事務組合



岡谷市・下諏訪町・辰野町の3市町で構成し、湖北衛生センター（平成3年4月稼働）と湖北火葬場（湖風苑・平成21年12月完成）を運営しています。

組合長は岡谷市長、副組合長を下諏訪町長、辰野町長、岡谷市副市長が務めます。議員定数は岡谷市9人、下諏訪町4人、辰野町4人の計17人。年2回の定例会が、岡谷市議会の議場で開かれます。

現在、下諏訪町からは、中山透議長、林吉広議員、林元夫議員、金井敬子議員が選出されています。中山透議長は、監査委員を務めています。

諏訪広域連合

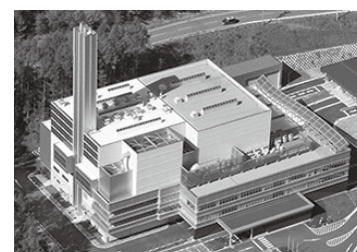


岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村の6市町村で構成されます。取り扱う事務は、①諏訪地域の広域行政の推進②諏訪地域ふるさと振興基金事業の実施③救護施設八ヶ岳寮の設置、管理、運営④介護保険⑤消防（消防団、消防水利施設等は除く）⑥その他。

広域連合長は諏訪市長、副広域連合長を他5自治体の首長が務めます。議員定数は諏訪市5人、岡谷市5人、茅野市5人、下諏訪町3人、富士見町2人、原村2人の計22人。年2回の定例会が諏訪市議会の議場で開かれ、毎回5人が一般質問を行えます。総務消防と福祉環境の2常任委員会があります。

現在、下諏訪町からは、中山透議長（福祉環境）、松井節夫副議長（総務消防）、野沢弘子議員（福祉環境）が選出されています。中山透議長は、副議長を務めています。

湖周行政事務組合



岡谷市・諏訪市・下諏訪町の3市町で構成し、諏訪湖周クリーンセンター（愛称ecoポッポ・平成23年9月設立）を運営しています。

組合長は岡谷市長、副組合長を諏訪市長、下諏訪町長、岡谷市副市長が務めます。議員定数は岡谷市4人、諏訪市4人、下諏訪町4人の計12人。年2回の定例会が、岡谷市議会の議場で開かれます。現在、下諏訪町からは、中山透議長、竹元完奈議員、高橋幸二議員、樽川信仁議員が選出されています。中山透議長は、監査委員を務めています。

諏訪湖周クリーンセンターより発生する焼却灰を埋め立てるための最終処分場を整備予定ですが、建設地が決まらない課題を抱えています。

諏訪広域公立大学事務組合

岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村の6市町村で構成され、2018年開学した公立大学法人公立諏訪東京理科大学を運営しています。諏訪東京理科大学は、以前は学校法人経営でしたが、地方公共団体の運営になりました。

組合長は茅野市長、副組合長を他5自治体の首長と茅野市副市長が務めます。議員定数は茅野市8人、諏訪市3人、岡谷市3人、下諏訪町2人、富士見町2人、原村2人の計20人。年2回の定例会が茅野市議会の議場で開かれます。現在、下諏訪町からは、中山透議長、大橋和子議員が選出されています。

この町に住んで思うこと

「下諏訪の良さを次の世代へ」～仲間と広げる、笑顔と絆～ 有井 嘉徳さん

生まれは山梨県ですが、物心ついた頃から下諏訪で育ちました。父が町で洋食店を営んでいたこともあり、飲食には自然と関心がありました。製造業に勤めていた頃、仲間と「夢を持った人たちが集まれば1つの街になるよね」と語り合い、その思いが今の活動につながりました。世代を超えて人が集まり、気軽に語り合える場所なら自分にもできると思い、店を始めました。東鷹野町から始まり、現在はオルゴール通りにて仲間と角打ちイベントなどを行いながら、自分たちも楽しみつつ活気ある場所づくりを目指しています。

時代が進み、価値観が変わってきているけれど、大切な思いはきちんと伝えていきたい。子どもたちには「下諏訪は楽しい街なんだ」と姿で示していきたいです。

議会については、専門性を磨いたプロフェッショナルな集団になってほしいと思います。その姿勢が、住民にとって安心して相談できる基盤になるはずです。【インタビュアー 高橋】



駅前オルゴール通りにて、『地酒と炭火焼鳥 佳肴あり井』を営業している。

傍聴席で水分補給ができます

傍聴規則の改正により、9月定例会から、本会議場での傍聴席への水分の持ち込み、乳幼児・児童の入場ができるようになりました。

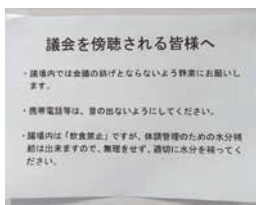
特に水分補給に関しては、議員も本会議場に持ち込むことができるようになり、適宜水分補給をしています。

乳幼児・児童の入場に当たっては、会議の妨げになるとときには、議長が注意や一時退席をお願いする事もあります。

これにより、開かれた議会の実現を図る観点から、多様な方に議会傍聴に来ていただけることを期待しております。

皆様の傍聴をお待ちしています。

議長 中山 透



次回 12月定例会 スケジュール(予定) 12月1日(月)～

一般質問

12月9日(火)・12月10日(水)

ぜひ傍聴にお越しください。
詳細は議会 HP をチェック！



SNSはこちらから ご覧ください



Instagram



Facebook